



流れ・ビューティフル

株式  
会社

# Air Admittance Valve Positive Air Pressure Attenuator

## 通気弁

AV-1C型(ミニベント)  
AV-2C型(マキシベント)  
AV-4C型(レジベント)

## 排水用正圧緩和器

DHA-1型(P.A.P.A.)

### 通気弁

排水管設備の簡略化・設備費を削減。

### 正圧緩和器

排水管内に発生する正圧を緩和。

P.A.P.A.™

Maxi-Vent™



Mini-Vent™

REDI-VENT™

特長

**その① 害虫の侵入をシャットアウト。**

通気部に防虫網を内蔵しているため、害虫の侵入がありません。

**その② メンテナンス不要 排水設備同等の耐久性。**

弁開閉の繰返しが密封性能に影響を与えることはありません。




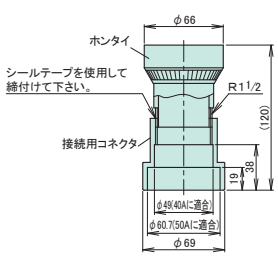
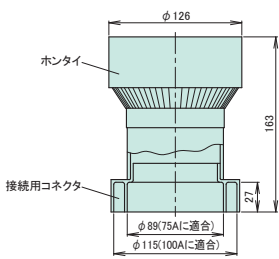
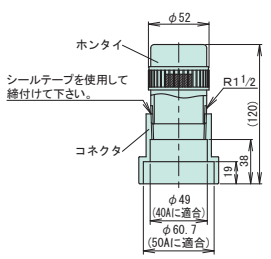
150万回の作動に耐えられる事を確認していると共に、全品完成個別検査後の合格品が出荷されます。

**その③ あふれ縁より下に取付け可能で、-20~60℃の気温に対応。**

欧州規格(EN12380:2003-3)によりAIクラスを取得。

A: あふれ縁より下に取付可能。 I: -20~60℃の場所に設置可能。

仕様

用途	ビル・マンション用		戸建住宅用
種類	ミニベント	マキシベント	レジベント
型式	AV-1C型 <sup>注1</sup>	AV-2C型 <sup>注1</sup>	AV-4C型
製品記号	AV1C-P	AV2C-P	AV4C-P
外観	<b>Mini-Vent™</b> 	<b>Maxi-Vent™</b> 	<b>REDI-VENT™</b> 
呼び径	40	75	40
適用管	JIS K 6741硬質塩化ビニル管 (VP・VU管)		
適用管径	40・50	65 <sup>注2</sup> ・75・100	40・50
吸気量	7.5L/s (弁差圧250Pa時)	32L/s (弁差圧250Pa時)	2.7L/s (弁差圧250Pa時)
適用周囲温度	-20~60℃		
端接続	差し込み接着		
材質	本体 (ABS樹脂)、弁体 (ABS樹脂+合成ゴム)		
取付姿勢	直立取付		
付属品	接続用コネクタ (JIS K 6741VP・VU管呼び径40、50共用接着継手)	接続用コネクタ (JIS K 6741VP・VU管呼び径75、100共用接着継手)	接続用コネクタ (JIS K 6741VP・VU管呼び径40、50共用接着継手)
寸法図			

注1. 屋外用カバー付も製作しています。AV-1C型(製品記号: AV1C-PB)、AV-2C型(製品記号: AV2C-PB)現地での後取り付けはできません。

注2. 管径65の接続には、市販のインクリーザ(65×75)をご使用ください。

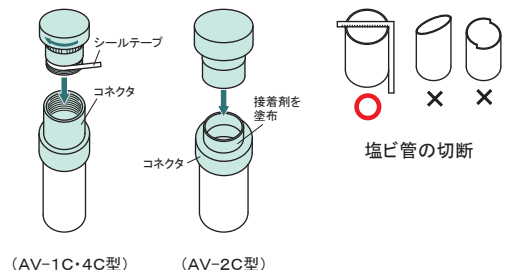
取付方法

付属のコネクタに塩ビ管用の接着剤を塗布し、パイプにコネクタを取付けてから、AV-1C・4C型はシールテープを巻いて手で締付けてください。

AV-2C型はコネクタに塩ビ管用の接着剤を塗布して取り付けてください。

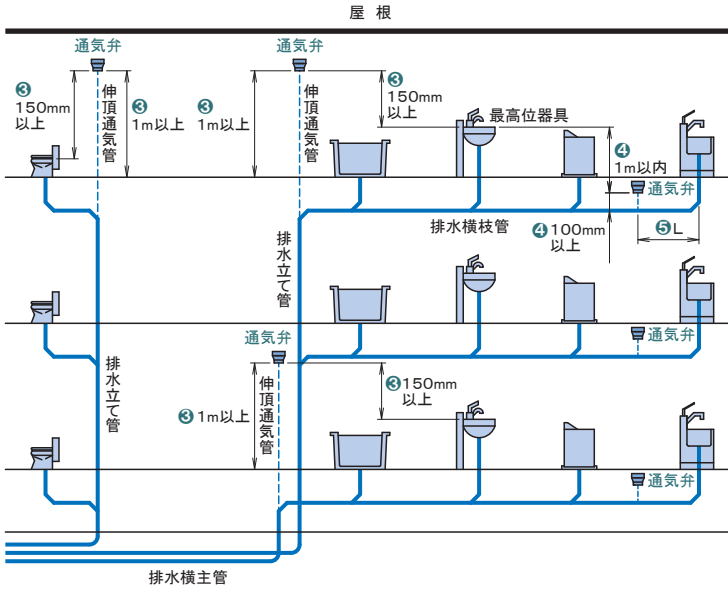
● 塩ビ管用の接着剤は、空気漏れのない様、管の接続部全周と側面にむらなく塗布して確実に取り付けてください。

● 塩ビ管の切断面は、軸方向と直角になる様切断してください。



**注意**

設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

**設置場所****■AV-1C, 2C型**

- ⑥ 天井裏などに取付ける場合は、建材の断熱材などから150mm以上離して取り付けてください。
- ⑦ 排水横枝管の長さが3mを超える場合は、3mごとに取り付けてください。
- ⑧ 高層・超高層ビルの場合は、10階ごとに取り付けてください。
- ⑨ 排水横主管に複数の排水立て管が合流する場合、最下流の排水立て管は大気開放とし、1本の排水横主管に合流する排水立て管の数は、10本を上限としてください。
- ⑩ 屋外に通気弁を設置する場合は、屋外カバー付（オプション）をご使用ください。現地での後取り付けはできません。
- ⑪ 通気弁は排水管内の正圧を緩和する目的のための逃し通気管には使用しないでください。
- ⑫ 取付けはメンテナンスを考慮し、場所、スペースに配慮してください。

**■AV-4C型**

- ① 設置場所は、空気が十分流入可能で保守点検が容易な場所に取り付けてください。やむを得ず密閉度が高く容積の小さい場所に設置する場合は、30cm<sup>2</sup>以上の通気口を設けてください。  
[例] 屋根裏、天井裏、流し台や洗面台の下、トイレなど。
- ② 壁内の隠蔽部に設置する場合は必ず点検口を設けてください。
- ③ 通気弁は器具あふれ縁の下方1.5mより高い位置に取り付けてください。
- ④ 排水横枝管に取り付ける場合は、排水横枝管から100mm以上、上方に設置してください。
- ⑤ トラップから通気弁までの距離は下表の距離:Lの範囲内で取り付けてください。

**●トラップから通気弁取付位置までの距離:L**

排水管の呼び径	距離:L(mm)
40	80~1,000
50	100~1,500
75	150~1,800

注. 自己サイホン作用を防止するには、トラップから300mm以内に取付けてください。

- ⑥ 排水横枝管に複数の器具排水が合流する場合、最上流の器具排水管が排水横枝管に接続される直後の位置へ取り付けてください。
- ⑦ 壁内などに取付ける場合は、建材の断熱材などから150mm以上離して取り付けてください。
- ⑧ 排水横枝管の長さが3mを超える場合は、3mごとに取り付けてください。

- ① 設置場所は、空気が十分流入可能で保守点検が容易な場所に取り付けてください。  
やむを得ず密閉度が高く容積の小さいパイプシャフトなどに設置する場合は、通気管断面積の2倍以上の通気口を設けてください。

[例] 屋根裏、配管シャフト、天井裏、壁面吸気スペース、流し台や洗面台の下、トイレなど。

- ② 天井裏やパイプシャフトなどの隠蔽部に設置する場合は、必ず点検口を設けてください。
- ③ 伸頂通気管頂部に取付ける場合は、最上階の床面から1m以上、かつ最上階にある最高位の排水器具のあふれ縁から150mm以上、上方に取り付けてください。
- ④ 排水横枝管に取付ける場合は、排水器具のあふれ縁から下方に1m以内、排水横枝管から100mm以上、上方に取り付けてください。
- ⑤ 排水横枝管に複数の器具排水が合流する場合、最上流の器具排水管が排水横枝管に接続される直後の位置へ下表の距離(L)の範囲内で取り付けてください。

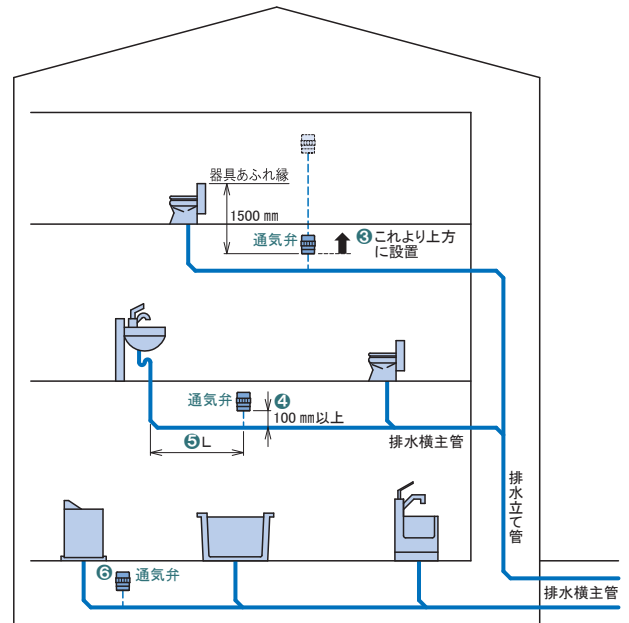
**●トラップから通気弁取付位置までの距離:L**

排水管の呼び径	距離:L(mm)
40	80~1,000
50	100~1,500
75	150~1,800
100	200~3,000

注. 自己サイホン作用を防止するには、トラップから300mm以内に取付けてください。



屋外に通気弁を設置する場合は、屋外カバー付（オプション）をご使用ください。



# P.A.P.A.™ 排水用正圧緩和器



**注意**

設置時や運転に関する注意事項は、それぞれ別に用意された取扱説明書をご覧ください。

## 特長

### その① 通気弁と組合せ、正圧・負圧を解消。

独自の設計により、10階以上の建物の排水管内で発生する正圧を緩和します。最大4基まで連結でき、大きな正圧にも対処できます。又、通気弁(マキシベント)を組合せることにより、正圧・負圧を解消できます。

### その② 通気配管が単純化でき、工期・工費が削減。

通気弁との組合せにより正圧・負圧に対処できますので、複雑な通気配管を大幅に削減できます。

### その③ メンテナンス不要・取扱い容易。

機械的装置がないためメンテナンスは不要です。軽量で扱い易く、水平にも取付けできますので、床下などにも設置可能です。問題を抱えている建物での排水システムの改善ができます。

## 仕様

種類	排水用正圧緩和器
型式	DHA-1型
製品記号	DHA1-P
外観	
適用管	硬質塩化ビニル管 (VP管・VU管)
適用管径	75
端接続	差込み接着
材質	合成樹脂・合成ゴム
取付姿勢	直立又は水平
寸法図	

## 使用例

### 正圧による噴き出し障害対策

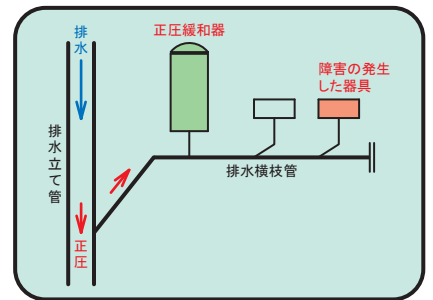
排水管内には、排水の流れにより負圧と正圧が発生します。負圧には通気弁を、正圧には正圧緩和器を使用することにより、排水内に発生する負圧と正圧への対策を図ることができます。

右図の様に排水立て管内を排水が流れることにより、正圧が発生します。この正圧が排水横枝管に流入することで、噴き出しなど封水への障害が起こることがあります。

このような場合には、障害の発生した器具が設置された排水横枝管と排水立て管との合流部の近くに正圧緩和器を設置します。

正圧緩和器は排水立て管から排水横枝管に流入する正圧を緩和し、トラップの破封や器具からの噴き出しなどの障害を緩和します。

注: 排水管の詰まりなどにより徐々に上昇する圧力に対しては、正圧緩和器は適用できません。

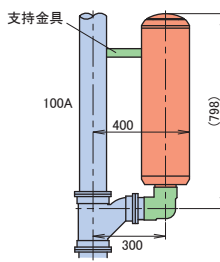


### 取付け・取扱い上の注意

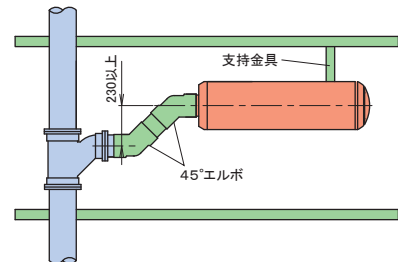
- 通気弁併用時は鉛直から5°以内の直立に取り付けてください。
- 硬質塩化ビニル管用継手または排水管用可とう継手を使用して設置してください。また、本体を支持金具等で支持してください。
- 本体を水平に取付ける場合は45°エルボを2個使用して設置してください。また、本体内に排水が流入しないように、取り出し配管から230mm以上、上方に設置してください。

## 通気弁と正圧緩和器の組合せ

AV-20型との組み合わせにより、排水管内で起こる正圧と負圧による問題を解消できます。



直立設置例



水平設置例



注意

- 用途にあった商品をお選びください。不適切な用途で使われますと事故の原因になることがあります。
- ご使用前に取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。取扱いを誤りますと故障や事故の原因になります。
- このカタログの仕様、構造などの記載内容は予告なしに変更することがあります。

このカタログの記載内容は2019年9月現在のものです。



流れ・ビューティフル

株式会社

本社 〒146-0095  
東京都大田区多摩川2-2-13  
TEL 03-3759-0170 FAX 03-3759-1414  
http://www.venn.co.jp

### 東日本営業部

☆東京営業所 TEL 03-3759-0171  
☆西関東営業所 TEL 042-772-8531  
☆東関東営業所 TEL 043-242-0171  
☆北関東営業所 TEL 048-663-8141  
☆関東営業所 TEL 027-252-4248  
☆新潟出張所 TEL 025-282-3833  
☆仙台営業所 TEL 022-287-6211

### 西日本営業部

☆盛岡営業所 TEL 019-697-7651  
☆札幌営業所 TEL 011-875-8007  
☆大阪営業所 TEL 06-6325-1501  
☆岡山出張所 TEL 086-902-3060  
☆名古屋営業所 TEL 052-411-5840  
☆静岡出張所 TEL 054-275-2705  
☆金沢営業所 TEL 076-261-6989

### 広島営業所 TEL 082-230-4511

☆福岡営業所 TEL 092-291-2929  
☆沖縄出張所 TEL 098-860-1660

ISO9001

岩手工場・相模原工場  
19.09.2YA-SA